

令和2年度「しまねっ子！元気アップ・カーニバル」 開催校の紹介

「しまねっ子！元気アップ・カーニバル」は、ダンスや柔軟運動、また縄とびやボール等を使った「しまねっ子！元気アップ・プログラム」の15種目の中から好きな数種目を選択して異学年・同学年の友だちと一緒に仲良く楽しんで運動する集会活動です。15種類の運動種目には、島根県の地名にちなんだ名前が付けられています。

以下はこの集会活動を開催した学校の紹介です。友だちと声をかけ合い、助け合いながら記録の向上を目指し、運動することに夢中になって楽しんでいる子どもたちの姿が見られます。

なお、カーニバル開催校には株式会社ローソンの協力により運動用具等が贈られました。

◆第24回◆ 大田市立久屋小学校 全校48名 開催日：2月19日（金）

昨年度に引き続き、今年度もなわとび集会と結びつけて元気アップ・カーニバルを開催しました。「松江城！忍者8の字とび」や「鯉から龍に変身蟠竜湖連続2重跳び」等、それぞれにめあてを立てて、記録更新を目指し意欲的に取り組むことができました。高学年による様々な技の模範演技が行われ、下学年の意欲づけになったのと同時に、演技をした高学年の自信にもなりました。また、異学年間の交流を通じて、児童同士の頑張りを自然と認め合うことができ、なかよし班の一体感を深めました。



◆第23回◆ 益田市立都茂小学校 全校35名 開催日：2月18日（木）

保護者や地域の方も楽しみにしておられたロードレースが、前日からの天候の急変によって変更となったが、低学年と高学年が一緒に「松江城！忍者8の字とび」の種目に取り組みました。低学年にとっては、初めての運動や動きだったが、縄に入るタイミングや走り抜ける方向等のポイントを高学年が手本となったり、手をつないで一緒に活動したりすることで恐怖心を取り除くことができたようです。これからも運動に親しむことを大事にしながら、体カアップに取り組んで行ってほしいです。



◆第22回◆ 益田市立匹見小学校 全校11名 開催日：2月17日（水）

今年度から元気アップ・カーニバルに参加しました。当日に向けて、長く跳んだり、様々な技に挑戦したりと目標を持って達成しようという意欲を高めることができました。苦手な児童も「できそう」という気持ちが徐々に膨らみ、実際に「できた」という達成感を味わうこともでき、自信をもつことができました。最後の全校児童でのふり返りでは、友だちの良かったところや頑張っているところをお互いに認めることができ、カーニバル自体が温かい雰囲気につつまれました。



◆第21回◆ 雲南市立三刀屋小学校 全校 257名
開催日：2月9日（火）

今年度から「なわとび集会」と結びつけて、全校児童参加の元気アップ・カーニバルを開催しました。2月のこの時期に設定することで、1月の室内運動が縄跳び中心となり、体育学習の発表の場として取り組むことができました。高度な技に挑戦したり、休み時間に練習したりする児童が増え、運動の日常化につながりました。個人や学級の目標に向かって、団結しながら盛り上がる姿がたくさん見られ、思っていたより長く跳ぶことができ、新記録を出す学級も多く、達成感を味わうことができました。



◆第20回◆ 安来市立南小学校 全校 71名
開催日：2月9日（火）

普段の体育授業で取り組んでいる柔軟運動からスタートし、短なわとびや縦割り班ごとの「松江城！忍者8の字とび」に取り組みました。週に1回業間に練習時間を設定し、縦割り班で目的をもって協力して活動することで仲間意識が高まっていきました。また、高学年の長なわとびのアレンジやダブルダッチの技を下級生が見て、憧れをもつことができました。「自分たちもやってみたい」という思いを、日々の体育授業や休み時間に結びつけて、体力向上に継続して励んでほしいと思います。



◆第19回◆ 吉賀町立柿木小学校 全校 57名
開催日：2月8日（月）

毎年、学期に1回「元気アップ・プログラム」と関連付けて全校運動を行い、今年度は縄跳びをテーマとして元気アップ・カーニバルを開催しました。柿木小オリジナル姿育ダンスや「ドジョウすくい3種目柔軟運動」で体をほぐしてから活動スタートとなりました。短縄も長縄も個人やチームの目標を設定することで、どの児童も主体的に活動し、伸びに着目しながらチャレンジする姿勢が自然と身についてきました。学校行事の一つとして位置づけ、今後も継続して体力向上に努めてほしいと思います。



◆第18回◆ 松江市立鹿島東小学校 3・4年27名
開催日：2月3日（水）

コロナに配慮しながら、3・4年生での元気アップ・カーニバル開催となりました。普段から体育の準備運動や体づくりで、五種目走や柔軟運動、なわとびに取り組んでいます。また今年度からリズムなわとびを取り入れ、次の級を獲得するという目標をもって取り組む姿や楽しんで主体的に運動する姿が見られるようになりました。また県の元気アップ・プログラムを利用して学校オリジナルのプログラムを作り、友達としっかり関わりながら体力向上に向けて運動しています。



◆第17回◆ 出雲市立長浜小学校 4・6年123名
開催日：2月1日（月）

昨年度に続いての元気アップ・カーニバルの開催となったが、コロナ禍の中で全校ではなく、ペア学年による分散開催等の配慮をして実施することができました。体育授業の前半に体力向上に向けた運動に取り組んだり、校舎内に設置されたジャンピングボードで休憩時間に練習した技の成果を発表したりと運動に親しむ姿がたくさん見られました。児童代表のなわとび名人と対決する等の楽しい企画が計画され、どの児童も体力向上に向けての意欲の高まりが感じられました。



◆第16回◆ 出雲市立多伎小学校 全校146名
開催日：1月29日（金）

昨年度に引き続き、2年連続での元気アップ・カーニバル開催となり、高学年のスポーツ委員会主体による運営によって、全校での体力向上の機会となりました。持久跳びでは学年によって時間を設定し、定められた時間が近づくとみんなでカウントダウンをして、最後までとび続けた児童に拍手を送ったりしながら、励まし合う姿が見られました。「松江城！忍者8の字とび」では、上学年が下学年に縄に入るタイミングを教える等、異学年の交流を図ることができました。



◆第15回◆ 大田市立大森小学校 全校11名
開催日：1月20日（水）

今年度初めて元気アップ・カーニバルを開催することができました。これまで体育の授業を中心に、準備運動やそれぞれの運動領域に合わせながら、プログラムの中から種目を選んで取り組んできました。カーニバル当日は全校児童で楽しみながら、多くの種目に親しむことができ、運動への意欲づけにつながる良い機会となりました。児童の苦手な運動や体力の個人差等を十分に考慮しつつ、これからも運動する楽しさや心地よさをしっかりと味わってほしいと思います。



◆第14回◆ 出雲市立須佐小学校 全校89名

開催日：12月7日（月）

体育の準備運動の一つとして、全学年が継続して「ドジョウすくい3種目柔軟運動」に取り組んでいます。体育館壁面に掲示する等の工夫によって児童の意欲が随分高まり、効果も表れてきています。カーニバル当日の目標達成に向けて、どの学級も一体となって「松江城！忍者8の字とび」にチャレンジしました。運動前の円陣やかかけ声に全員の気持ちが表れ、体育館が熱気に包まれました。学級の団結を高め、みんなが達成感を味わうことができる良い時間となりました。



◆第13回◆ 大田市立朝波小学校 全校83名

開催日：12月4日（金）

昨年度に続き、縦割りなかよし班で声をかけたり励まし合ったりしながら3つのプログラムに挑戦しました。「ドジョウすくい3種目柔軟運動」は、1学期から継続して取り組んでいたため、家庭や学童でも練習した成果が表れ、最高得点に到達した友達もいました。コロナの影響で練習時間がとれなくても、本番で新記録を出した班が多く、大変盛り上がりました。感染状況によっては制限がかかることも考えられるが、学年や少人数で運動するなど工夫しながら取り組んでいきたいと思えます。



◆第12回◆ 安来市立赤屋小学校 全校31名

開催日：12月3日（木）

元気アップ・プログラムの各種目を体育授業の導入時に積極的に取り入れ、多様な動きや感覚が経験できるように継続的に取り組んでいます。カーニバル当日は、オリジナルソングに合わせ、「赤屋サーキット」からスタートしました。そして、「協力」「あきらめない」「声をかけ合う」の3つのめあてに向かって、みんなで協力して様々な運動に取り組みました。声をかけ合ったり応援したりすると運動が楽しくなることに子どもたち自ら気づいたようです。



◆第11回◆ 奥出雲町立高尾小学校 全校7名

開催日：12月2日（水）

初めて元気アップ・カーニバルに参加しました。普段の体育から「全員で運動の楽しさを味わう」ことに重点を置き、互いに声をかけ合ったり励まし合ったりしながら取り組んでいます。初めての種目でも「難しかったけど、みんなで協力して最後まで挑戦できたことが楽しかった。」という感想にあるように、楽しみながら積極的に取り組む姿がうかがえました。今後も新しい種目を取り入れ、運動に親しみをもちながら、児童の体力向上に継続して取り組んでほしいと思えます。



◆第10回◆ 大田市立久手小学校 3・4年 68名

開催日：11月26日（木）

柔軟性や敏捷性、巧緻性を高めるために、プログラムの中から3種目選んで活動に取り組みました。2年ぶりの元気アップ・カーニバル参加でしたが、子どもたちは協力して楽しみながら運動し、活動後に「また、やりたいです。」という声がたくさん聞かれました。今日のカーニバルをきっかけに日常生活や体育学習にも関連させて、新しい種目も取り入れながら、楽しく運動に親しんでほしいと思います。また、3学期に計画しているなわとび集会での記録更新を目指して頑張してほしいです。



◆第9回◆ 吉賀町立六日市小学校 全校 78名

開催日：11月25日（水）

コロナの影響で、昨年度までの朝活動を利用した取組が10月からのスタートになりましたが、どの種目にも意欲的に取り組み、班のメンバーと協力して運動したり、互いに仲間を応援したりすることができました。5種目でサーキットを構成し、多様な基礎感覚づくりを経験するとともに、笑顔いっぱい楽しんで運動する児童がたくさん見られました。個人の記録や伸びがわかるような工夫された記録カードに記入し、多くの先生たちも一緒になってカーニバルを盛り上げていました。



◆第8回◆ 奥出雲町立八川小学校 全校 60名

開催日：11月19日（木）

健康・体育委員会を中心とした児童主体の活動として取り組み、全校縦割りの『かがやき班』ごとに様々な運動にチャレンジすることを通して体力アップを図っています。コロナ対策についても十分に検討され、屋外で密を避けてカーニバルを行いました。課題である柔軟性の向上を目指し、業間休み等を利用して継続した取組を行うことで改善の傾向も見られているようです。日頃より異学年での活動も多く、低学年を優しくリードする高学年の姿がキラキラ光っていました。



◆第7回◆ 雲南市立鍋山小学校 全校 51名

開催日：11月17日（火）

一学期に続いて、2回目の校内ロードレース大会を実施しました。今日に向けて業間マラソンを一ヶ月前から実施し、「江の川マラソン」を基に作成した「なべっ子マラソンカード」を利用して、日々の運動量や走行距離を増やしていきました。低・中・高にわかれての実施でしたが、多くの保護者や地域の方々の声援に後押しされて、自己記録を更新する児童がたくさんいました。今後も柔軟性をはじめとする様々な運動を経験しながら、日々の生活に運動が根付くような仕掛けをしていく予定です。



◆第6回◆ 雲南市立阿用小学校 全校 49名

開催日：11月5日（水）

しまねっ子！元気アップ・プログラムを基に阿用っ子バージョンを作成し、業間休み等に全校で取り組んでいます。楽しみながら体づくりができるように、そして体育科の学習をくらしの中に広げることができるような場の設定や環境整備をしようと全教職員と児童が一体となって取り組んでいる姿勢がうかがえました。当日の様子や児童アンケートの記述から「体育が楽しい」「進んで運動している」と答える児童が増えていることから、一定の成果が表れていると思われるので継続して取り組んでほしいです。



◆第5回◆ 奥出雲町立馬木小学校 全校 49名

開催日：10月21日（水）

今年度も校内ロードレースの前に、準備運動と体づくりを兼ねて元気アップ・カーニバルを実施しました。柔軟性に課題があることから「ドジョウすくい柔軟運動」と「出雲ドームブリッジ」を行い、自分の伸びを確認したり、レベルを把握したりしました。そして、「奥出雲おろちみんなどでジャンプ」では、どの児童も前向きに運動に取り組むことができ、縦割り班の上学年の児童が跳ぶ方法やタイミングのとり方を上手に教えている場面がたくさん見られました。



◆第4回◆ 安来市立飯梨小学校 全校 38名

開催日：10月19日（月）

元気アップ・プログラムを基にした「飯梨小モデル」の取組を考察したり、コロナウイルス感染症対策として3密を避けた運動に継続的に取り組んだりしながら、技能の向上が図られています。馴染みの薄かった「石見銀山間歩フープくぐり」でもかなりの技能向上が見られ、カーニバル本番でもすばらしい演技を発揮することができ自信になりました。また投運動の技能を高めるためのボール投げゲームに異学年チーム対抗で取り組み、楽しんで運動する姿がたくさん見られました。



◆第3回◆ 出雲市立東小学校 5・6年生 42名

開催日：10月6日（火）

5、6年生の合同体育という形で、元気アップ・カーニバルを行いました。他学年の動きや技を見るいい機会になり、身近な友だちを良い目標にしながら、体力向上していかうとする気持ちが生まれたようです。元気アップ・プログラムのカードを工夫しながら活用し、校内のオープンスペースにコーナーを作って継続して取り組んでいます。今年度繰り返し取り組んできた「かえる逆立ち」や「ブリッジ」の成果がしっかりと表れた活動になり、児童の達成感や満足感が大きかったようです。



◆第2回◆ 大田市立大田小学校 6年生 89名

開催日：9月30日（水）

「しまねっ子！元気アップ・ダンス」で心も体もほぐした後に、3種類の運動に仲間と協力して取り組みました。ここ2年間特化して取り組んできたビートランニング（江の川マラソン）の成果も徐々に表れてきて、シャトルランの記録が全国平均よりも上回っている児童の割合が多くなったようです。「大田っ子！元気アップ・プログラム」という独自の取組を今年度から考え、筋力や体力が向上するように、体育授業や休み時間にも取り組んでいきます。



◆第1回◆ 大田市立北三瓶小学校 全校16名

開催日：9月18日（水）

全校児童が体育館をいっぱいを使って、「松江城！忍者8の字とび」や「神在月！神様大忙しシャトルラン」に取り組みました。長縄に引っかかってしまった児童が何人かいましたが、思いっきり体を動かして気持ちよく運動したり、みんなで協力して楽しめたりした児童がたくさんいました。また、ブリッジや柔軟運動を繰り返し行うことで、柔軟性が高まったと実感できた児童が多くいたので、これからも友だちとの関わりを大切にしながら運動経験を増やしていきたいです。

